

# JR信越本線安中・磯部駅間の 新駅構想周辺 まちづくり検討調査

JR信越本線安中・磯部駅間において、新駅構想を進めています。  
この冊子は、新駅構想周辺の概況と皆様の意向をまとめたものです。

新駅周辺に  
必要な機能（施設）は  
何だろう？

みんながもっと  
住みたくなるまち  
はどんなまち？

新駅周辺を  
暮らしやすいまちに  
するには？



2024年度

安中市 まちづくり部 都市計画課





## 2 新駅構想周辺の概況

### ■人口と世帯数

本市の人口は減少傾向にありますが、新駅構想周辺では一貫して増加傾向にあります。また、世帯数は全市では平成 27（2015）年をピークに減少に転じていますが、新駅構想周辺では人口と同様、一貫して増加傾向にあります。

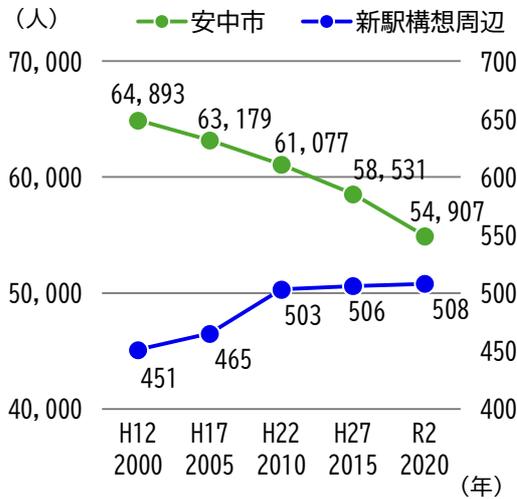


図 人口の推移

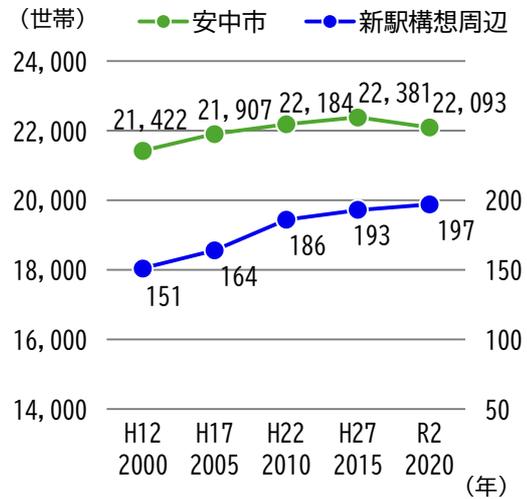


図 世帯数の推移

### ■土地利用等の状況

新駅構想周辺の土地利用は、田や畑等の自然的土地利用が大半を占めており、次いで住宅用地や道路用地等となっています。

建物利用については、住宅が最も多く、次いで業務施設となっています。

### ■公共交通の状況

新駅構想周辺における主な公共交通は、JR信越本線、路線バス及び乗合タクシーです。

路線バスは既成市街地を中心に運行されており、主要施設へは市役所(現庁舎)に5路線、県立安中総合学園高等学校前に3路線、新島学園中学校・高等学校前に2路線が運行しています。

乗合タクシーは、磯部、東横野、岩野谷、板鼻地区を中心に運行されており、その形態はデマンド形式となっています。

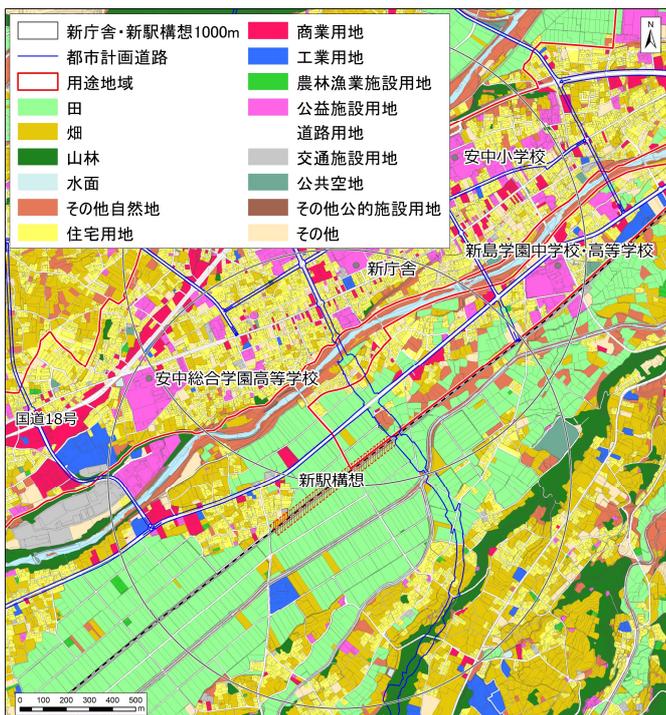


図 土地利用の現況

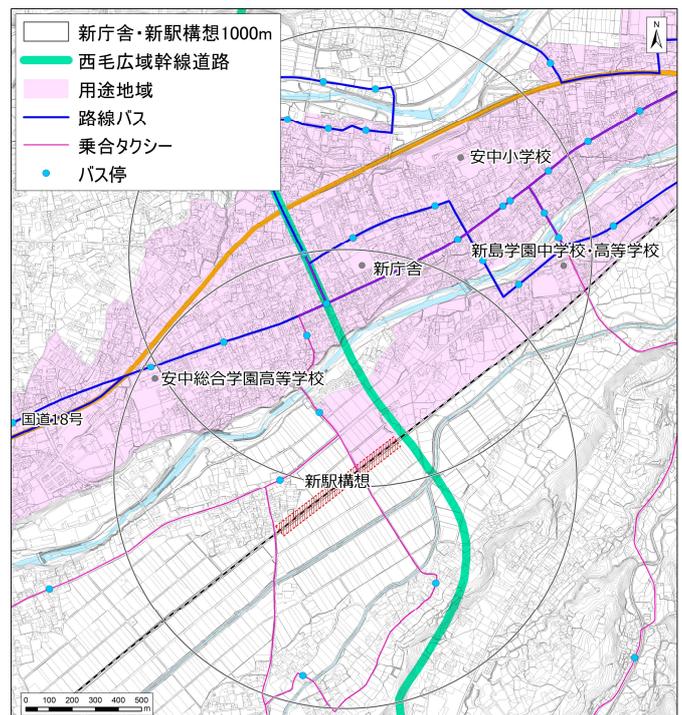
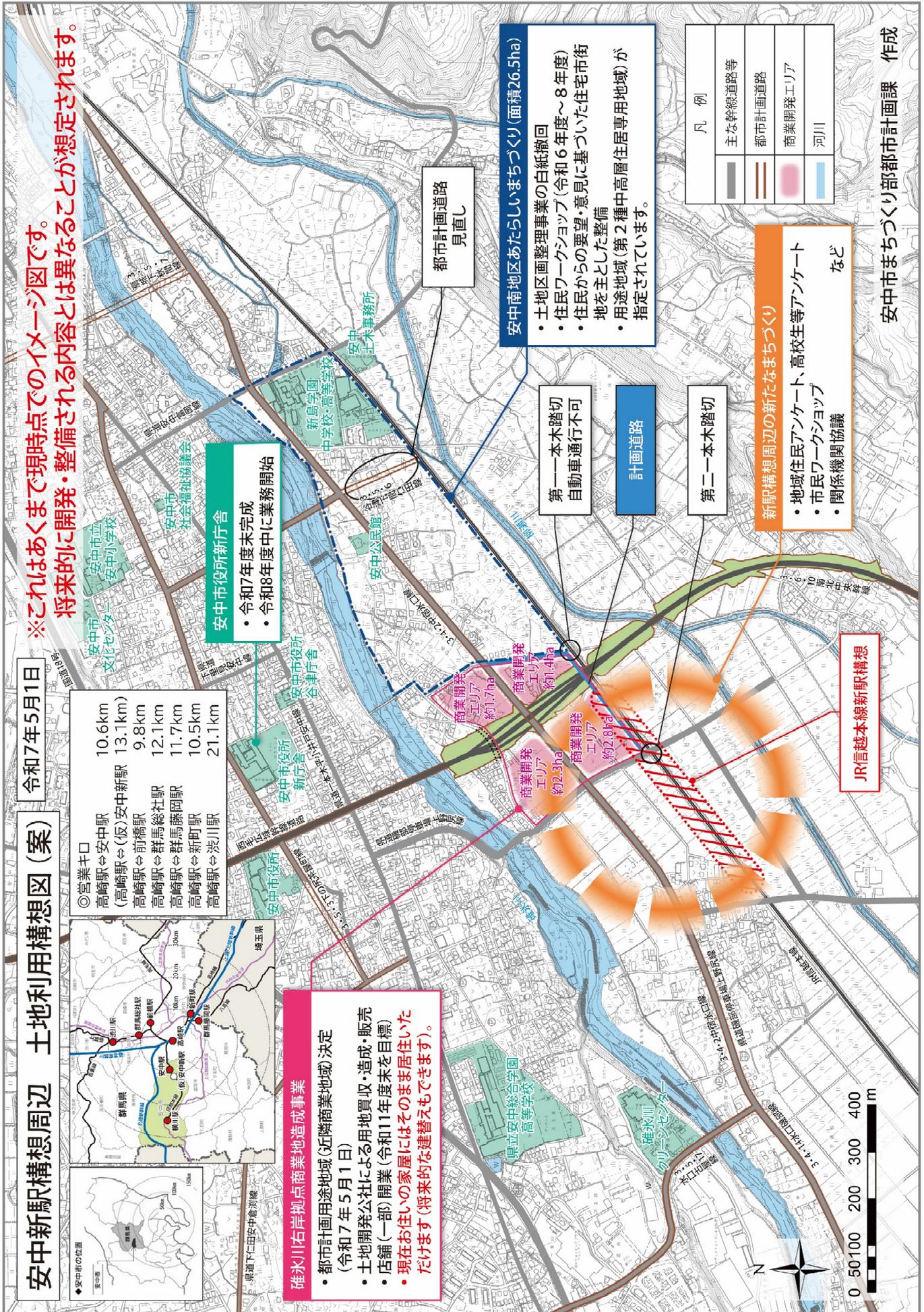


図 公共交通の状況



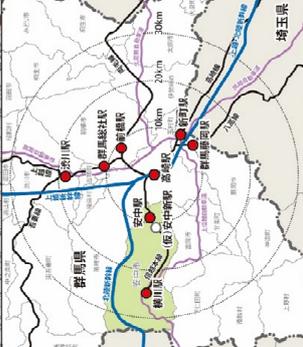
※これはあくまで現時点でのイメージ図です。将来的に開発・整備される内容とは異なることが想定されます。

令和7年5月1日

安中新駅構想周辺 土地利用構想図（案）

◎営業キロ

高崎駅⇄安中駅	10.6km
(高崎駅⇄(仮)安中新駅)	13.1km
高崎駅⇄前橋駅	9.8km
高崎駅⇄群馬緑社駅	12.1km
高崎駅⇄群馬藤岡駅	11.7km
高崎駅⇄新町駅	10.5km
高崎駅⇄渋川駅	21.1km



**碓氷川右岸拠点商業地造成事業**

- 都市計画用途地域(近隣商業地域)決定 (令和7年5月1日)
- 土地開発公社による用地買収・造成・販売
- 店舗(一部)開業(令和11年度末を目標)
- 現在お住いの家屋にはそのまま居住いただけます(将来的な建替えもできます)。

**安中市役所新庁舎**

- 令和7年度末完成
- 令和8年度中に業務開始

都市計画道路  
見直し

**安中南地区あたらしいまちづくり(面積26.5ha)**

- 土地区画整理事業の白紙撤回
- 住民ワークショップ(令和6年度～8年度)
- 住民からの要望・意見に基づいた住宅市街地を主とした整備
- 用途地域(第2種中高層住居専用地域)が指定されています。

第一本木踏切  
自動車通行不可

計画道路

第二本木踏切

**新駅構想周辺の新たなまちづくり**

- 地域住民アンケート、高校生等アンケート
- 市民ワークショップ
- 関係機関協議 など

凡 例

	主な幹線道路等
	都市計画道路
	商業開発エリア
	河川

JR信越本線新駅構想

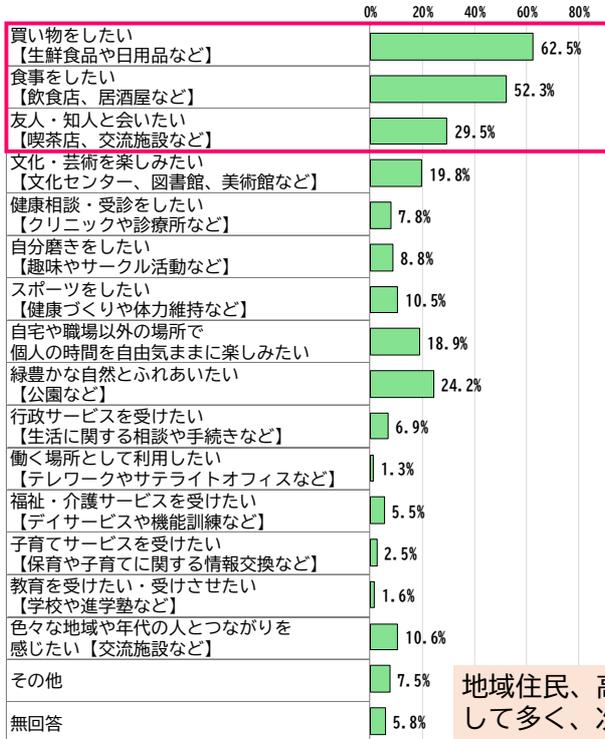
安中市まちづくり部都市計画課 作成

## 4 アンケート調査結果

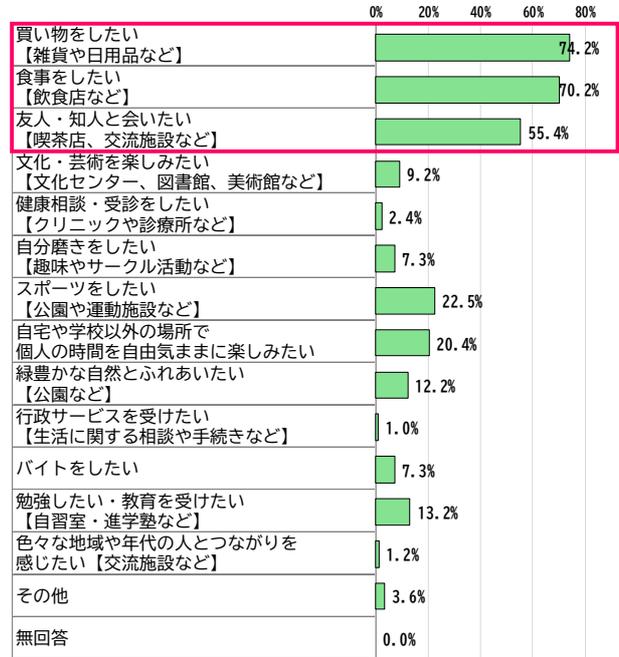
新駅構想周辺のまちづくりの検討にあたり、市民や中学生・高校生の皆さんの意見や意向を幅広くお聞きするため、アンケート調査を行いました。

### ■新駅周辺に求める機能

#### <地域住民>



#### <高校生等>



地域住民、高校生等ともに、「買い物をしたい」「食事をしたい」が突出して多く、次いで「友人・知人と会いたい」が続いています。

## 5 市民ワークショップ結果

※ワークショップとは、自由な雰囲気の中で参加者が主体的に意見やアイデアを出し合う集まりのことをいいます。

新駅構想周辺のまちづくりの検討にあたり、新駅構想周辺に必要な機能や取組について市民の皆さんの意見や意向を幅広くお聞きするため、ワークショップを開催しました。

### ■新駅周辺に必要なもの、あったらいいもの

- 商業施設
  - 飲食店
  - 観光・地域活性化施設
  - 文化施設
  - 娯楽施設
  - 医療・福祉施設
  - 子育て支援施設
  - ビジネス・事務所等
  - 行政関連施設
  - 道路交通
  - 公共交通
  - 駐車場、駐輪場
  - 公園・広場等
  - 運動・アウトドア施設
  - フリースペース
- など



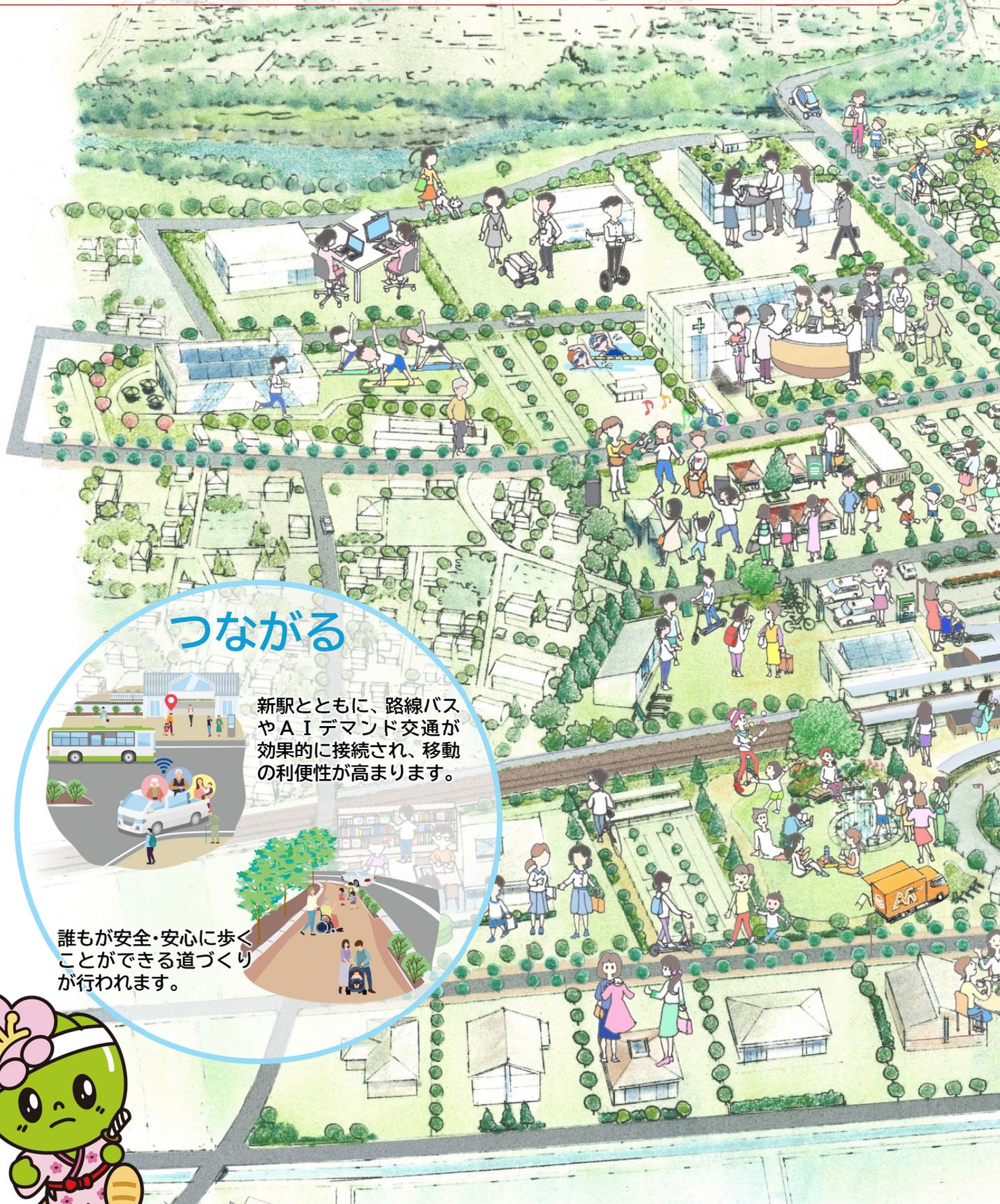
### ■新駅周辺が「使いやすい」「過ごしやすい」「訪れやすい」まちになるために必要なこと・アイデア

- 土地利用の誘導・規制
  - 生活利便機能
  - 道路環境や公共交通の充実
  - 新駅及び新駅との連絡・駅前空間
  - 環境保全、景観形成・保全・利活用
  - バリアフリー化
  - 広域連携と地域性・魅力の発信
- など



## 6 みんなが想う未来のまちづくりのイメージ（案）

アンケート調査や市民ワークショップで得られた皆さんの意向をイメージ図に表現しました。  
皆さんの意向を参考に、今後具体的な検討を進めていきます。



# 集う

人が集まり、楽しい時間を過ごす商業施設や飲食店などがつくられます。

人が集まり、思い思いの時間を過ごす公園や広場などがつくられます。

# 高まる

周辺の環境や景観などに調和したまちなみがつくられます。

まちの魅力が高まり、住む人や訪れる人が増え続けます。

## 7 まちづくりの方針（案）

### ■まちづくりのコンセプト

#### 集う・つながる・高まる あんなかの新たな駅まちづくり ～あんなかT3プロジェクト～

##### ○集う（Tsudou）【コンパクト】

⇒まちづくりによって多様な施設や機能が集まり、人も集まることを示しています。

##### ○つながる（Tsunagaru）【ネットワーク】

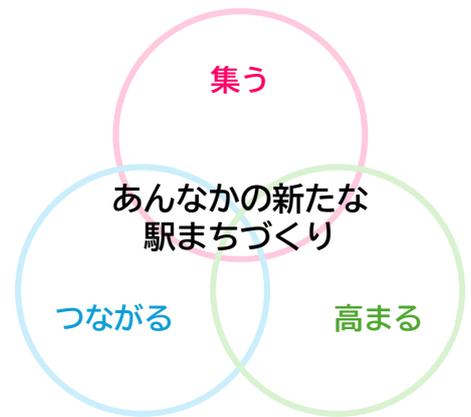
⇒鉄道や自家用車での移動に加え、公共交通での移動や自転車や徒歩での移動の利便性も飛躍的に高まり、いろいろなところに行きやすくなる、来やすくなることを示しています。

##### ○高まる（Takamaru）

⇒暮らす人、働く人、訪れる人、多様な人が集まり交流することで、活気・豊かさを実感しながら、生活の質やまちの価値が高まっていくことを示しています。

##### ○あんなかの新たな駅まちづくり ～あんなかT3プロジェクト～

⇒新たな駅とまちづくりを一体的に進めていくことを示しています。集う（Tsudou）、つながる（Tsunagaru）、高まる（Takamaru）ためのプロジェクトの総称を「あんなかT3プロジェクト」と表現しています。



## 8 今後の取組

### ①新駅構想の実現に向けたまちづくりの検討

○新駅構想の実現に向け、駅前広場や生活道路等の整備すべき都市基盤施設の位置・配置・規模等について検討を進めていきます。

### ②民間事業者の意向把握

○新駅構想周辺における土地利用の実現には民間事業者による開発・立地が必要であるため、進出意欲の有無など、民間事業者の意向把握を行っていきます。

### ③都市計画と農林漁業との調整

○新駅構想周辺における都市的土地利用を計画的に推進するためには、都市計画法に基づく用途地域等の地域地区の決定が必要であるため、都市計画と農林漁業との調整を行っていきます。

### ④地域住民の皆さんの継続的な意向把握

○新駅構想周辺のまちづくりは、行政や民間事業者のみならず、地域住民の皆さんとの協働により進めることが必要であるため、継続的に意向把握等を行っていきます。

### ⑤庁内・庁外組織における協議・調整

○庁内・庁外組織による専門的な見地からの協議・調整を図っていきます。

お問い合わせは  
こちらまで

安中市役所 まちづくり部 都市計画課 交通政策係

○電話番号：027-382-1111（内線1222）

○Eメール：toshikeikaku@city.annaka.lg.jp

令和7（2025）年6月 発行

